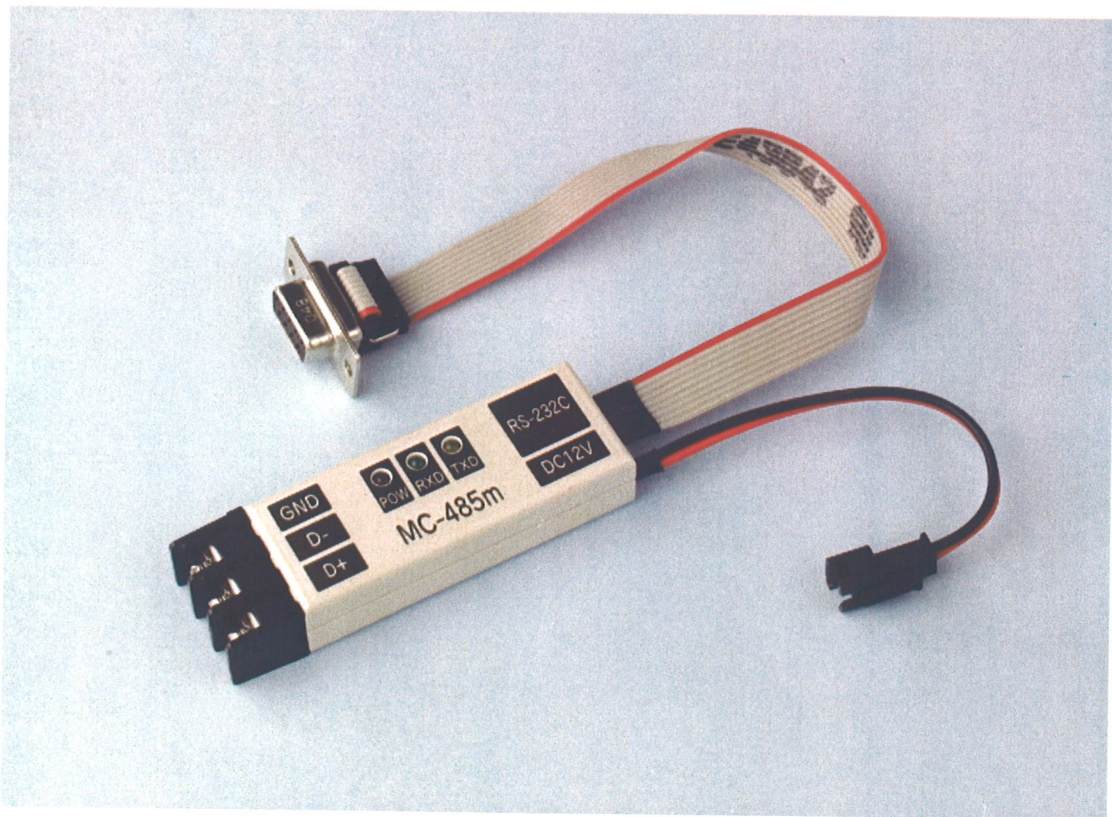


MC-485m RS-232C/RS-485変換器

# 説明書



 シオテクサービス株式会社

Rev1.1 2006, 03, 15

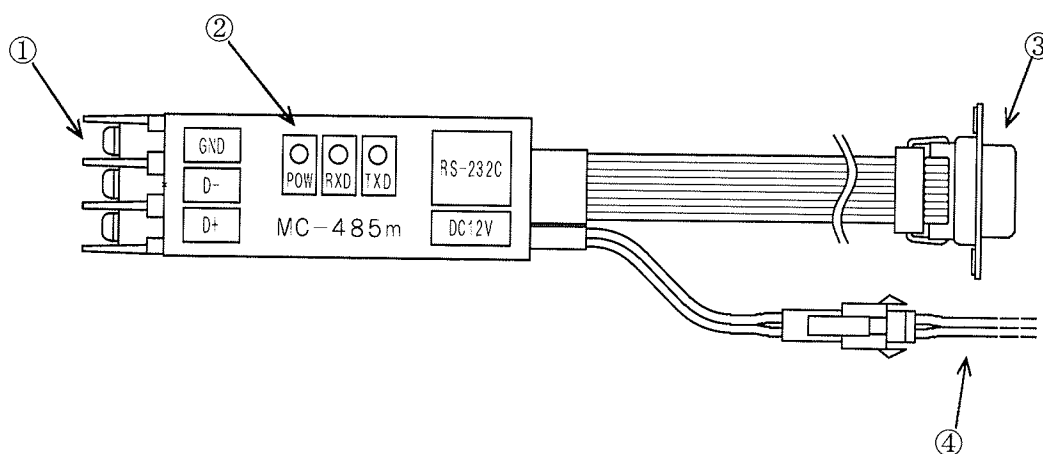
## 1. 概要

本器はRS-232C仕様の弊社製計測器をRS-485通信にて使用する場合や、パソコンのRS-232CをRS-485に変換する場合に使用するレベル変換器です。

本器を使用することにより複数の機器を一台のパソコンに接続する事が可能になります。またRS-232Cと比較して接続延長距離を伸ばす事ができます。

本機は弊社製省エネ間欠動作型計測器の起動信号を生成する機能を持ちますのでバッテリー動作の省エネルギーシステムを構成する事が可能です。

## 2. 本体説明



### ① RS-485端子

RS-485仕様の機器と接続します。

### ② モニター用LED

#### POW

電源表示で本機に電源が供給されると点灯します。

#### RXD

RS-232C機器がRS-485からデータを受信した時に点灯（点滅）します。

#### TXD

RS-232C機器がRS-485側へデータを送信した時に点灯（点滅）します。

### ③ RS-232C端子

計測器やパソコンのRS-232Cポートと接続します。

### ④ 電源ケーブル

本機の動作電源入力です。（DC12V 赤+、黒-）

### 3. 仕様

#### 3.1 RS-232C 端子

- コネクタ形式 : D-SUB 9ピンメス
- 信号レベル : RS-232C準拠
- 形状 : 本体よりフラットケーブルにて直出し  
先端のコネクタを機器のRS-232Cへ接続する

#### 3.2 RS-485 端子

- 形状 : 3P端子台
- 信号レベル : RS-485準拠

#### 3.3 機器起動制御

- 方式 : RS-485の信号変化を検知しRS-232CのDSR信号を制御
- 保持時間 : 約15～20秒

#### 3.4 電源

- 電源電圧 : DC8～15V (485ライン軽負荷の場合は DC8～28V)
- 消費電流 : 待機時 約3.5 mA 外部機器への流出を含まない値  
待機時 約8 mA 外部機器 (弊社製計測器) への流出を含む値  
動作時 約20～100mA 周辺の状態による

#### 3.5 その他

- 使用温湿度 : 0～50℃、80%RH以下 (結露ない事)
- 本体寸法 : 79 (W) × 25 (D) × 15 (H) 突起部を含まない寸法

## 4. コネクタの割り当て

### 4.1 RS-232C

番号	信号名	方向
1	(DCD) *1	
2	RXD	出力
3	TXD	入力
4	(DTR) *1	
5	GND	
6	DSR (起動制御信号)	出力
7	RTS *2	(入力)
8	CTS *2	(出力)
9		

コネクタ形状：DSUB 9P メス型

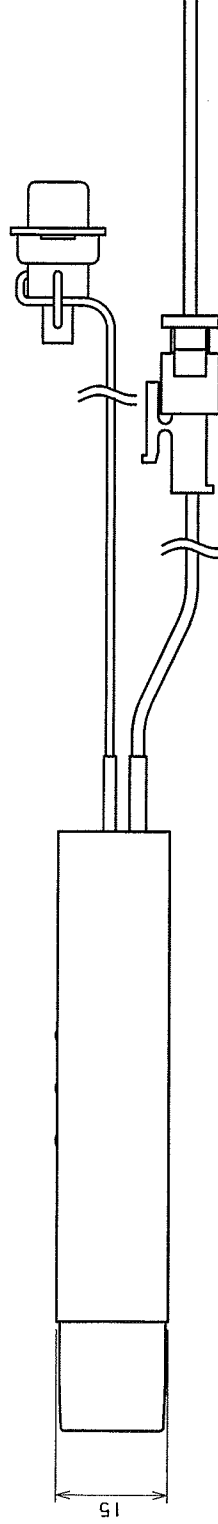
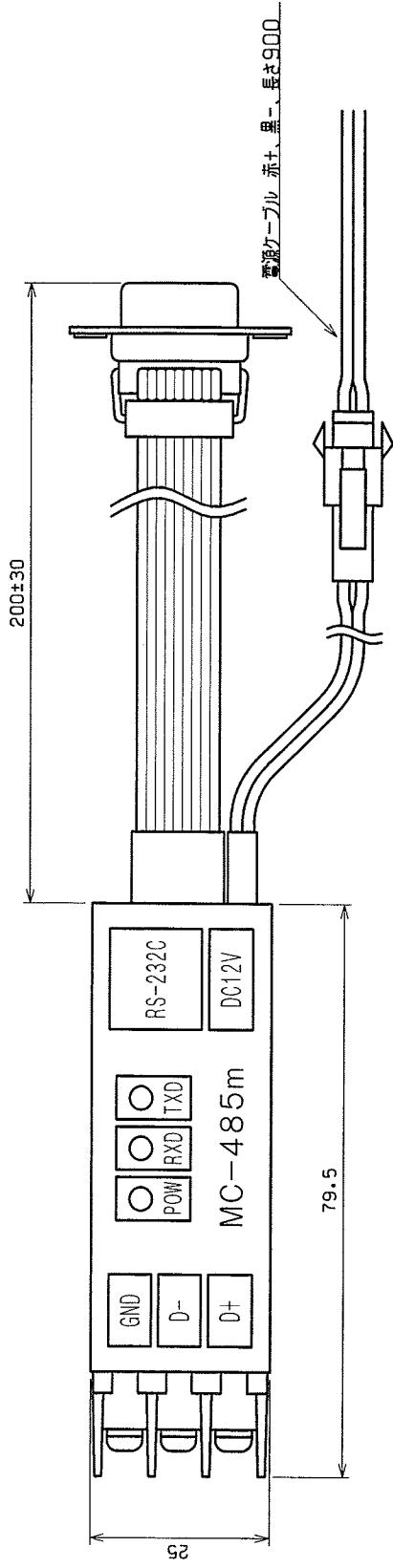
\*1. DCD, DTRの信号線は無接続です。


\*2. RTS, CTSは内部にて折り返し接続されています。

本コネクタと DOS/V パソコンの間は 9P のノーマル結線型ケーブルにて接続して下さい。

## 5. その他

本器は弊社製の計測制御機器とパソコン間の通信を行うのに最適な動作タイミングで調整されております。そのため他社製の機器や変換器と接続した場合、動作が不安定になったり動作しない可能性がありますのでご注意ください。



'06-03-10 JUN		MATERIAL	SCALE
		FINISH	1/1
No.		REV	
MC-217_GAIKEI			
TITLE			
MC-485m 外形図			
 GEOTECHSERVICE INC.			